

Panasonic[®]

取付説明書



Bluetoothユニット
品番 **CY-BT200D**



適合機種 (2007年6月現在)

CN-HDS965TD
CN-HDS945TD
CN-HDS915TD

ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。
- 取付説明書(本書)、および接続する機器の説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

お客様へのお願い

本機の取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

販売店様へのお願い






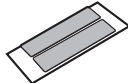
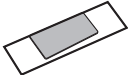
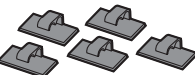
本機の取り付け後、この取付説明書は必ずお客様へご返却ください。

保証書別添付

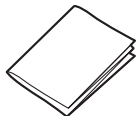
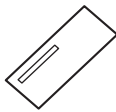
内容物の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

● ()内の数字は数量です。

① ユニット本体	② スイッチ	③ マイク	④ 拡張端子接続ケーブル
 (1)	 2m (1)	 5m (1)	 3m (1)
⑤ 音声入力コード	⑥ 両面テープ(本体用)	⑦ 両面テープ(スイッチ用)	⑧ コードクランパー
 3m (1)	 12mm×55mm (2)	 15mm×30mm (1)	 (5)

主な添付品

● 取付説明書(本書)	● 保証書
 (1)	 (1)

本製品は日本国内でのみ使用できます。
(外国為替及び外国貿易法に定める規制貨物に該当します。)

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ日	年 月 日	品 番	CY-BT200D
販売店名	☎ () -		
製造番号 (Serial No)	万一の故障や盗難時のために、製造番号の下7桁をメモしておいてください。 () ※製造番号は、ユニット本体の裏側にある銘板と保証書に記載されています。		

松下電器産業株式会社
パナソニック オートモーティブシステムズ社

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

© 2007 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

YFM294C118YA PTW FX0307-1047

Printed in Taiwan

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

分解・修理、および改造をしない
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。火災や感電、事故の原因になります。

分解禁止

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付け・配線しない
エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

運転や視界を妨げたり・同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けしない

運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ブレーキペダル付近など)、前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

故障や異常な状態のまま使用しない
万一、故障(音が出ないなど)や異常(異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど)が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。そのまま使用を続けると、火災や感電、事故の原因になります。

小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

運転者は走行中に画像・表示を注視しない
走行中の画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。

雷が鳴り出したら、プラグに触らない
落雷による感電の恐れがあります。

接触禁止

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーの⊖端子をはずす
バッテリーの⊖端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

配線・取り付け後は、車の電装品が正常に動作することを確認する
車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻きつかないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

指定に従って配線・取り付けをする
説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと、火災や事故の原因になります。

心臓ペースメーカー、その他の医療用電気機器をご使用になる場合には、該当の各医療機器メーカーもしくは販売店に電波による影響について必ずご確認ください。電波により動作に影響を与える場合があります。

免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品を業務用の車両(バス・トラック・タクシー・商用車など)に使用した場合の保証はできません。

注意

高温になる場所などに取り付けない
直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

コードを破損しない
傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱器具へ近づける、車の高温部に接触させるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、事故の原因になることがあります。

- 車体やねじ・可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように、引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないようにください。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない
雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

振動の多いところや不安定な場所には取り付けない
強い曲面等に取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

強い衝撃を与えない
落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

はずれたり・落下しないようにしっかり取り付ける
接着が弱いと、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する
指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

配線・取り付け/取りはずしは、専門技術者に依頼する
配線・取り付け/取りはずしには、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

特長

■Bluetooth®(ブルートゥース)とは

電子機器同士をワイヤレス(無線)でつなぐことにより、ケーブルを使用することなく通信できる技術のことです。

※ Bluetooth®は、Bluetooth SIG, Incの登録商標であり、ライセンスに基づき使用しております。

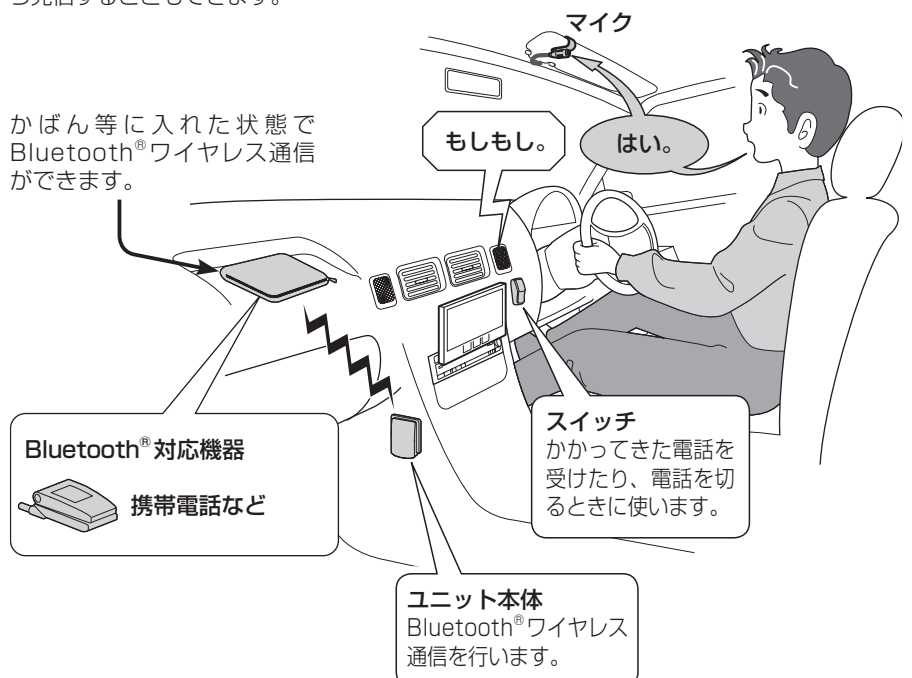
ハンズフリー通話

Bluetooth®対応の携帯電話と組み合わせると、ハンズフリーで着信の応答・通話ができます。

また、携帯電話の電話帳を転送することにより、電話帳を利用してナビゲーションから発信することもできます。

オーディオ再生

Bluetooth®対応の携帯電話やオーディオ機器の音楽をBluetooth®ワイヤレス通信でナビゲーションに送ることにより、車内のスピーカーで楽しむことができます。



Bluetooth®対応携帯電話の適合機種については下記サイトにてご確認ください。

● URL: <http://panasonic.jp/car/>

取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。
- 本機と iPod® のナビゲーションへの同時接続はできません。
すでに iPod をご使用の場合は、本機を取り付ける前に iPod® 用インターフェースケーブル (CA-DC300D) を取りはずしてください。
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線されていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。

準備

- 設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。

作業の順序

- 1 バッテリーの⊖端子をはずす。
- 2 配線する。
 - ナビゲーションの取付説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
- 3 取り付ける。
- 4 バッテリーの⊖端子を、もとに戻す。

お願い

- エアバッグや盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーをはずすと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなる場合があります。

配線・取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

お手入れのしかた

- 電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



使用しない

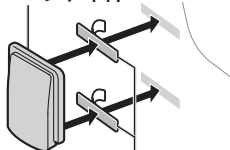
取り付けかた

本体を取り付ける

センターコンソールの横などに取り付ける。

- ユニット本体裏側の銘板を隠さないように、両面テープを貼ってください。

① ユニット本体

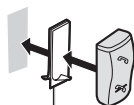


⑥ 両面テープ 裏紙をはがす



スイッチを取り付ける

センターコンソールの上などの操作しやすい場所に取り付ける。



② スイッチ

⑦ 両面テープ 裏紙をはがす

マイクを取り付ける

CN-HDS965TD

CN-HDS915TD

モニターに内蔵のマイクでハンズフリー通話がしにくい場合は、付属のマイクを接続してください。

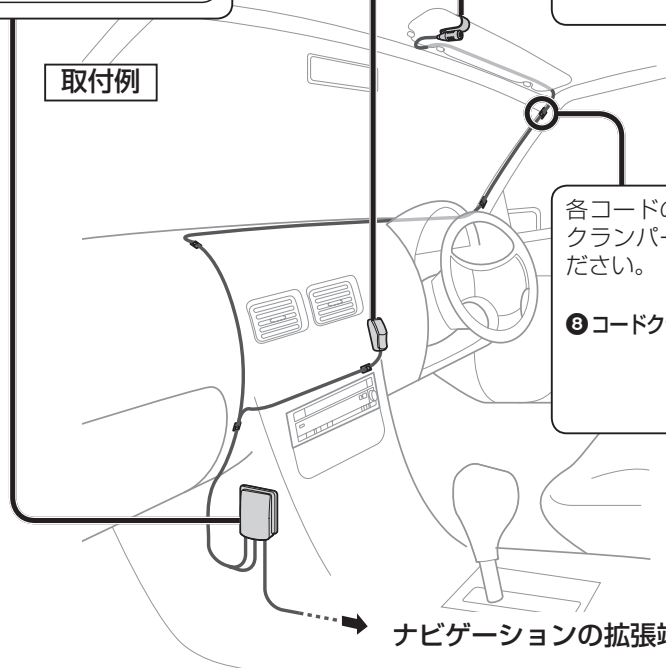
車のサンバイザーに取り付ける。

③ マイク

サンバイザー



取付例



各コードの要所をコードクランパーで固定してください。

⑧ コードクランパー



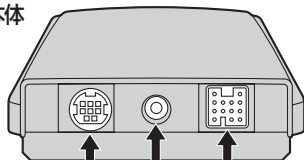
ナビゲーションの拡張端子へ

配線のしかた

CN-HDS965TDの場合

- 通常は、音声入力コードでインダッシュモニターと本機を接続して、インダッシュモニターに内蔵のマイクでハンズフリー通話をしてください。(インダッシュモニターが閉まった状態ではハンズフリー通話はできません。)
- インダッシュモニターが閉まった状態でもハンズフリー通話をしたい場合は、付属のマイクを接続してください。
- インダッシュモニターに内蔵のマイクでハンズフリー通話をしにくい場合は、付属のマイクを接続してください。
- すでに別売の音声入力用マイク (CA-VCM600D) をご使用の場合、付属のマイクは必要ありません。音声入力コードでインダッシュモニターと本機を接続して、音声入力用マイクでハンズフリー通話をしてください。

① ユニット本体



② スイッチ



③ マイク



⑤ 音声入力コード

音声出力コード

音声コード

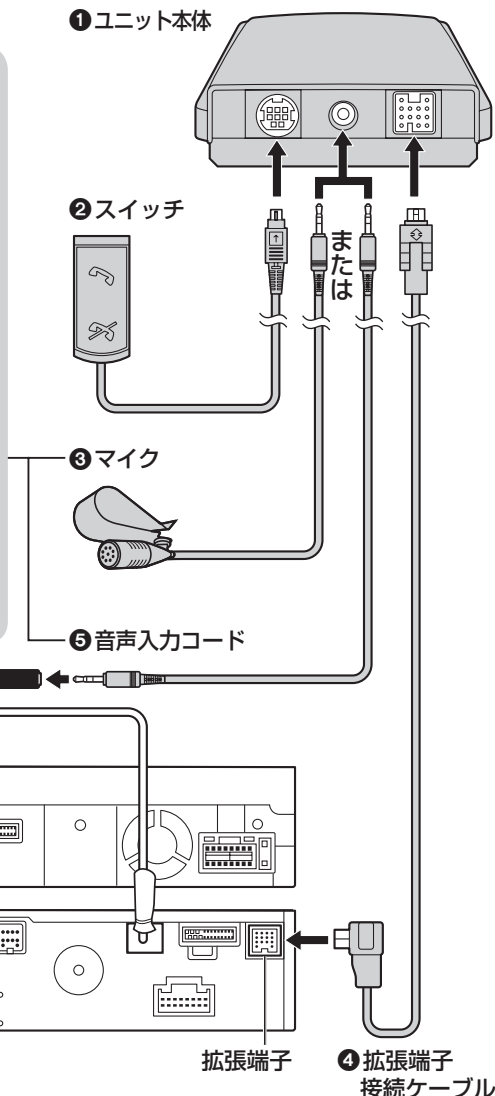
CN-HDS965TD

インダッシュモニター

ナビゲーション本体

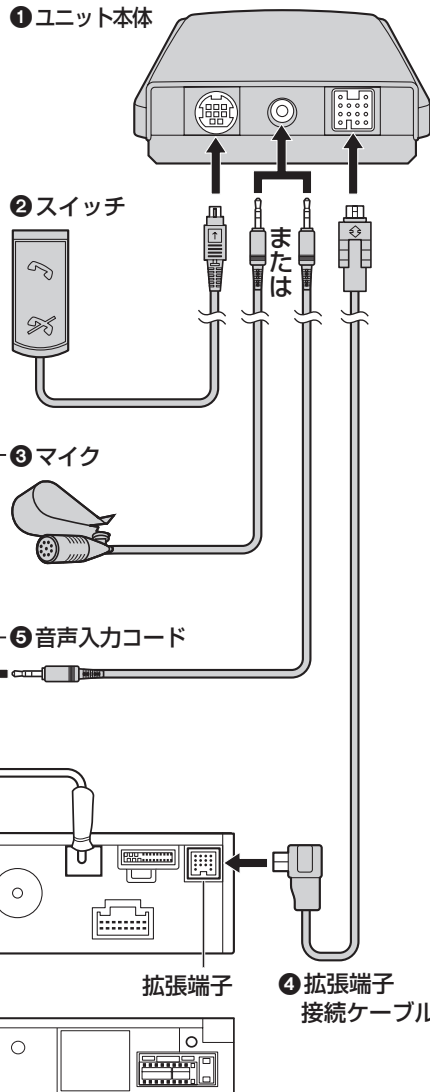
拡張端子

④ 拡張端子
接続ケーブル

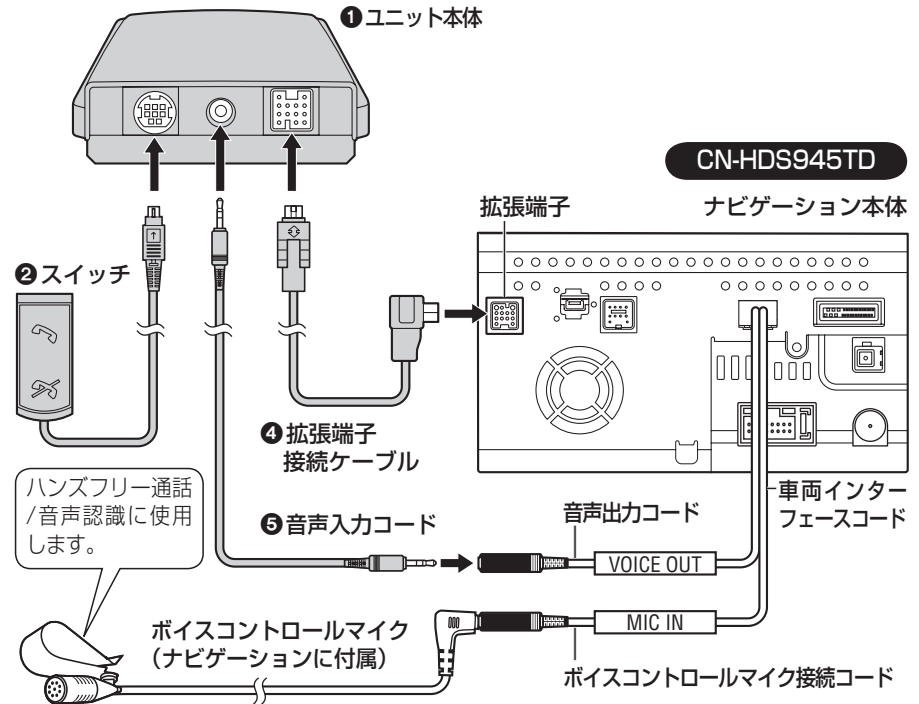


CN-HDS915TDの場合

- 通常は、音声入力コードでジャンクションボックスと本機を接続して、オンダッシュモニターに内蔵のマイクでハンズフリー通話をしてください。
- オンダッシュモニターに内蔵のマイクでハンズフリー通話をしにくい場合は、付属のマイクを接続してください。
- すでに別売の音声入力用マイク (CA-VCM600D) をご使用の場合、付属のマイクは必要ありません。音声入力コードでジャンクションボックスと本機を接続して、音声入力用マイクでハンズフリー通話をしてください。



CN-HDS945TDの場合

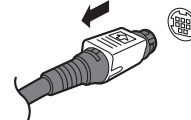


■ロック付きコードの取りはずしかた

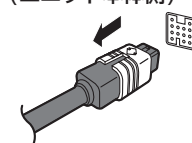
矢印の方向に押しながら、取りはずしてください。

- 無理に引っ張ると、破損することがあります。
- 必ず、ロックが解除されていることを確認してから取りはずしてください。

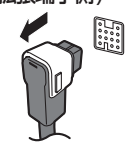
② スイッチ



④ 拡張端子接続ケーブル (ユニット本体側)



④ 拡張端子接続ケーブル (拡張端子側)



取り付け・配線の確認

画面例：CN-HDS965TD

1 メニュー画面「情報」から「システム情報」を選ぶ



- システム情報画面が表示されます。

2 拡張ユニット情報を選ぶ



3 「BLUETOOTHユニット」が「ON」表示になっていることを確認する



- 「OFF」表示になっている場合は、正しく取り付け・配線されていない可能性があります。再度取り付け・配線を確認してください。

操作方法は、接続する機器の説明書をご覧ください。

Bluetooth® について

■使用周波数帯

本機は2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

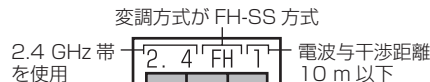
- 1 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店または「サービス相談窓口」へご相談ください。
- 3 その他、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店または「サービス相談窓口」へご相談ください。

■機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- ユニット本体の裏側に貼ってある定格銘板をはがす。

■周波数表示の見方(定格銘板に記載)



2.402 GHz ~ 2.480 GHz の全帯域を使用

■使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- すべてのBluetooth®対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBluetooth®対応機器は、Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合していても、Bluetooth®対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- Bluetooth®標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時にご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は車載用です。車載用以外には使用しないでください。

■他機器からの影響

- 他のBluetooth®対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。

■用途制限

- 本機を使って音楽を聞いたりハンズフリー通話をするには、Bluetooth®対応機器が下記のBluetooth®バージョンに対応している必要があります。
 - ・ Bluetooth®標準規格 Ver.1.2
- 本機を使って音楽を聴くには、Bluetooth®対応機器が下記のBluetooth®プロファイルに対応している必要があります。
 - ・ Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
 - ・ Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
- 本機を使って携帯電話の通話をするには、携帯電話がHands-Free Profile (ハンズフリープロファイル)に対応している必要があります。
- 携帯電話の電話帳をナビゲーションに転送するには、携帯電話がObject Push Profile (オブジェクトプッシュプロファイル)に対応している必要があります。
- Bluetooth®対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 本機とBluetooth®対応機器が近くにあっても電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申しつけください。

転居や移動先などでお困りの場合は…

- 修理は、お近くの「サービス相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

よくお読みのと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、本製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

お客様ご相談センター

365日/受付 9:00~17:00

フリーダイヤル ☎ **0120-50-8729**
コー パナソニック

■ 一般電話（携帯電話・PHSなど） **045-929-1265**

FAX 045-938-1573

受付 9:00~17:00（土・日・祝日・当社休日を除く）

※一般電話、およびFAXをご利用の際の通信料は、お客様のご負担となります。

修理を依頼されるとき

お買い上げの販売店へご連絡ください。お買い上げの販売店にご依頼になれない場合には、お近くの「サービス相談窓口」へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	Bluetoothユニット
品番	CY-BT200D
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供いたしません。なお、折り返し電話させていただくための、ナンバー・ディスプレイを採用しています。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

仕様

ユニット本体	
使用電源	DC 13.2 V (ナビゲーション本体より供給)
消費電流	300 mA以下
通信周波数	2 402 MHz ~ 2 480 MHz
チャンネル数	79
チャンネル幅	1 MHz
通信方式	周波数ホッピングスペクトラム拡散
RF 出力	-1 dBm(0.8 mW)
見通し通信距離	約 10 m
Bluetooth® バージョン	1.2
対応プロファイル	HFP (Hands-Free Profile)
	OPP (Object Push Profile)
	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
	AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	73 mm × 102 mm × 26 mm
質量	80 g
スイッチ	
コードの長さ	2 m
マイク	
インピーダンス	600 Ω
コードの長さ	5 m
拡張端子接続ケーブル	
ケーブルの長さ	3 m
音声入力コード	
コードの長さ	3 m

- 見通し通信距離は、ユニット本体とBluetooth®対応機器の間に金属板などの遮蔽物があると、著しく低下することがあります。なるべく、遮蔽物がない場所に設置してください。

本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。

- iPodは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Bluetoothワードマークとロゴは、Bluetooth SIG所有であり、ライセンス取得者「松下電器産業株式会社」のマーク使用は、許可を得ています。その他のトレードマークおよびトレードネームは各所有者のものです。
- 本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。